

第9回 新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会 記念フォーラム

日時： 2021年6月19日（土）14：00～16：30 （開場13：30）
場所： かでる2・7 北海道立道民活動センター 8階 820 研修室
（中央区北2条西7丁目）

入場無料／予約不要
マスク着用でのご参加をお願いします

■ オープニング

札幌遠友夜学校記念館建設に向けて（経過・現状報告）

松井 博和（一般社団法人「新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会」理事長）

■ 基調講演

新渡戸稲造と松山事件 ～警世の扁額から～

青山 淳平 氏（作家）



“Tranquillity of Ocean Depth”
（深海の如き静けさ）

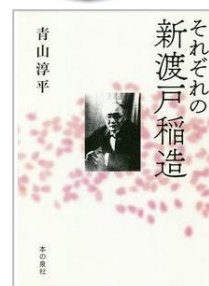


いわゆる「松山事件」で屈辱を味わい、苦境に追い込まれた新渡戸博士が揮毫したとされる扁額の謎に迫る。

<講師プロフィール> 1949年山口県下関市に生まれる。松山商科大学（現松山大学）大学院修了。高校社会科教諭の傍ら幅広い分野をテーマに小説、評伝などを執筆、各界より高い評価を得る。第3回稲造サミット・十和田パネリスト。

「ソローキンの見た桜」原作者として第1回日本放送文化賞。

主な著書：『海市のかなたー戦艦「陸奥」引揚げ』（中央公論新社）、『夢は大眾にありー小説・坪内寿夫』（中央公論新社）、『海にかける虹ー大田中将遺児アキコの歳月』（NHK出版）、『海は語らないービハール号事件と戦犯裁判』（光人社）、『海運王・山下亀三郎』（光人社）、『明治の空～至誠の人 新田長次郎』（燃焼社）、『小説・修復腎移植』（本の泉社）、『それぞれの新渡戸稲造』（本の泉社）



- ◆会場アクセス： JR 札幌駅南口より徒歩13分、地下鉄さっぽろ駅10番出口より徒歩9分、公共地下歩道（地下歩行空間から北1条地下駐車場連絡口を通る）1番出口より徒歩4分 <http://homepage.kaderu27.or.jp/intoro/access/index.html>
- ◆主催：（一社）新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会 <http://nitobe-enyu.org/>
- ◆共催：（一社）札幌農学同窓会 <https://www.alumni-sapporo.or.jp/>
新渡戸稲造記念遠友みらい塾 <http://enyumirai.main.jp>
- ◆問合せ：Eメール info@nitobe-enyu.org / 電話 011-577-1441 / FAX 011-241-1150 /
郵便 〒060-0061 中央区南1条西5丁目8 愛生館ビル
- ◆後援：北海道・北海道教育委員会・札幌市・札幌市教育委員会・北海道新聞社・朝日新聞北海道支社・読売新聞北海道支社・毎日新聞北海道支社

※ 道民カレッジガイドブックには本フォーラムを第8回と記載してありますが、昨年6月開催予定だった第8回はコロナ禍により延期ではなく中止となったため、第9回としております。

新渡戸稲造と札幌遠友夜学校

1862（文久2）年9月、南部藩士・新渡戸十次郎の三男として盛岡市に生まれた稲造は、1877（明治10）年、札幌農学校（現北海道大学）第2期生として内村鑑三、宮部金吾らと共に入学。さらに東京帝大、米国・ドイツで学ぶ。1891（明治24）年、メリー・エルキントン嬢と結婚、同年、札幌農学校教授に就任。1894（明治27）年、夫妻で札幌遠友夜学校を創設、生涯校長を務める。札幌遠友夜学校では1944年までの50年間に、600人を超える札幌農学校および北大の学生らが無償で教え、5,000人以上の子ども達が楽しく学んだ。校名の「遠友」は『論語』の「朋あり遠方より来る、また楽しからずや」と、生後8日で夭折した愛児「遠益」の名に由来する。

1898（明治31）年、病気のため札幌農学校を辞任。1900（明治33）年、米国で『武士道』を出版。その後、台湾総督府技師、京都帝大教授、第一高等学校校長、東京帝大教授、拓殖大学監、東京女子大初代学長、女子経済専門学校（新渡戸文化学園）校長を歴任し、1920（大正9）年、国際連盟事務次長、1929（昭和4）年、太平洋問題調査会理事長となる。1931（昭和6）年5月、札幌農学校辞任後2度目で最後の北海道訪問時に遠友夜学校来校。1933（昭和8）年、カナダにて第5回太平洋会議に参加後、10月客死、享年71歳。1984年に発行された五千円札の肖像となる。



札幌遠友夜学校記念館建設募金のお願い

本会は2013年に法人としてのスタート以来、稲造が掲げた自由・平等・慈愛あふれる教育と人材育成のシンボル、ならびに志を受け継ぐ活動拠点として「札幌遠友夜学校」跡地（南4条東4丁目）に記念館を建設することを目指し、史料収集、読書会、学習会、記念公園の美化活動等を通して本会の趣旨・活動へのご理解ご賛同を広げ、建設資金への募金をお願いしています。「札幌遠友夜学校」跡地は現在、「新渡戸稲造記念公園」として、掲示板と花壇が設置されていますが、今春、（株）北海道コカ・コーラボトリングのご協賛を得て、稲造デザインを施した飲料自動販売機も設置されました。この売上の一部も記念館建設資金となります。昨年度より白糠町の多大なるご協力を得て、クラウドファンディングによる募金も開始しました。当初予定からは少し遅れましたが、2023年の記念館完成に向けて活動・努力を加速させているところです。

本会活動は、札幌市、市教育委員会、北大はじめ大学・政財界・企業等で活躍される著名人、新渡戸博士と関係の深い国の代表の方々、そして何より日本全国・全世界の“新渡戸ファン”の熱い応援に支えられています。この紙面を手になさった皆さまもぜひ私たちと一緒に“新渡戸の子”として「協働の精神によるみんなの共有の場」を作る活動に加わっていただきたいと強く願っております。

クラウドファンディングを含めた記念館建設募金の詳細は、下記の本会ホームページでご覧いただけます。紙媒体でのご案内もできますのでお問い合わせください。



〒060-0061

札幌市中央区南1条西5丁目8 愛生館ビル

TEL: 011-577-1441 FAX: 011-241-1150

info@nitobe-enyu.org

http://nitobe-enyu.org/



記念館完成予想図

© Naomi Darling Architecture, LLC